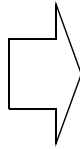


(教育課程編製の重点)

(重点実践事項)

(1) 学校教育目標実現のための適切な教育課程の編成

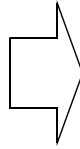
- ①学習指導要領に基づいた編成
- ②県・市・本校児童の課題や実態に即した編成
- ③特色を生かした創意ある編成



- ・学習指導要領に即した授業を実践するために、適切な年間指導計画を作成する。
- ・課題解決に向けた各部の取組が無理なく且つ効果的に実施できるように調整を図る。
- ・たけのこプロジェクトを中心としたふるさとキャリア教育を推進する。

(2) 確かな学力の向上

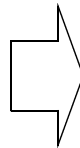
- ①主体的に学び高め合う学習指導の充実
- ②基本的な学習習慣の確立と学力の定着
- ③児童の実態に応じた指導・支援の工夫



- ・研修部と協力し、適切な研修が実施できるようにする。
- ・学習指導部と協力し、学習の共通実践事項の徹底とつながりを意識した授業の充実が図れるよう、各種取組を調整する。
- ・各種調査等の結果を活用した取組ができるようにする。

(3) 豊かでたくましい心と体の育成

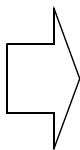
- ①心の教育の充実
- ②健康と体力の向上推進
- ③安全教育の推進



- ・あいさつや合唱、読書活動を計画的に実施し、温かな心の交流が図れるようにする。
- ・体力づくり活動や食育を計画的に実施し、健康意識が高まるようにする。
- ・避難訓練等を計画的に実施し、安全意識が高まるようにする。

(4) 地域に根ざしたふるさとキャリア教育の充実

- ①地域との協働によるキャリア形成
- ②たけのこプロジェクトを中心とした多様な体験活動の展開
- ③授業支援等を含む地域人材の活用



- ・地域のもの、ひと、こととつながり、発達段階に応じたキャリア形成が図れるようにする。
- ・地域連携協働ふるさと教材としてのたけのこ和紙作りを推進する。
- ・様々な教育活動の場で地域人材を積極的に活用する。

